

枚方市広報アドバイザーが従事した職務の遂行に係る情報

議 題	市内でのフェイスブック利用の促進について 各課の広報マインドの向上について 市制施行 70 周年のメインイベントについて 子育て応援冊子の見直しについて など
日 時	平成 28 年 11 月 21 日（月） 14 時～17 時
場 所	第 2 委員会室
出席者	伊賀広報アドバイザー 市長公室参事 広報課長及び同課職員 3 人 子ども青少年部情報発信リーダー 子育て事業課職員
主な意見	<p><b>&lt;市内の情報発信力の強化&gt;</b></p> <p><b>*フェイスブック利用の促進</b></p> <p>「いいね！」数（閲覧登録者数）を増やすことに加え、各課が利用したい存在（媒体）になることも大切。集客に結びついた実績や写真入りで事後報告できることを市内に PR し、利用を促してはどうか。</p> <p>イベント PR は、まず、ホームページにしっかりとした情報を上げるのが大切。その上で、フェイスブックの記事にリンクを貼るべき。</p> <p><b>*各課の広報意識の向上について</b></p> <p>広報課の取り組みを市内で共有し、各課の意識向上につなげるため、1 年間の活動報告を発行してはどうか。内容は、各課からの相談内容と広報課からの助言・フォローの内容、チラシやポスターのビフォー・アフターに加え、各部内での情報発信リーダーからのアドバイス内容などを取り上げてはどうか。</p> <p><b>&lt;市制施行 70 周年記念事業について&gt;</b></p> <p><b>*メインイベントについて</b></p> <p>芸能人を活用する場合、イベント出演時だけで考えるのではなく、早めに PR 大使などに任命して出演番組で宣伝してもらうなど、周年事業開始時からの効果的な発信手段として考えるべき。</p> <p><b>*イベント企画について</b></p> <p>イベントの企画段階から、民間の事業者に参加してもらい、アイデア等の提案を受けるのはどうか。</p> <p><b>*市制施行 70 周年の機運の盛り上げについて</b></p> <p>民間業者や市民などのネットワークを活用した参加型の取り組みを行い、70 周年の機運を市民らとともに高めていく企画を考えた方がいいのでは。一年間をどう盛り上げていくかを考えるべき。</p> <p><b>&lt;アドバイザーへの相談希望があった子育て冊子について&gt;</b></p> <p><b>*表紙デザインについて</b></p> <p>対象者に手渡すものなので、インパクトを求めるより、役に立つと分</p>

<p>主な意見</p>	<p>かってもらうことが大切。「保存版」「子どもが●歳までお使いください」などの文言があるとよいと思う。</p> <p><b>*表紙の紙質、印刷コストについて</b></p> <p>(現在のように)表紙の紙質にそこまでこだわらなくてよいのでは。無くした人も含め希望者に配るのであれば、情報も更新されるため、6年間保存してもらうことを前提に考えなくてもよい。冊子を受け取った際に、「こういう助成がある」「子どもを預けられる制度がある」などの概要を知ってもらえればよいと思う。中面は、2色刷りとフルカラーの価格を比べてみるとよい。大きく変わらない場合もある。</p> <p><b>*サイズについて</b></p> <p>(A5とA4のどちらがよいか、について)見開きごとに内容が変わると見やすいと思う。また、ページ途中に見出しが出てくると見づらくなる。現在、A5見開きで完結している項目も多く、A4にしても1ページちょうどで情報が収まるのではないか。サイズは、レイアウトや編集を実際に行いながら考えるとよい。</p> <p><b>*子育てマップについて</b></p> <p>掲載している情報が多すぎる。サイズを拡大するにしても、何を示す地図なのかをはっきりさせ、情報を絞るべき。</p> <p><b>*冊子全体の構成、各項目のデザインについて</b></p> <p>対象が広いものを先に載せて、対象が絞られたものを後に持ってくる方が読みやすいと思う。本文は、明朝体をゴシックに変えるだけでも見やすくなる。フォントをたくさん使う必要はなく、見出しのフォントを凝る必要もない。各項目の区切りがはっきりしているとよい。また、問い合わせは、見出しの横にある方が分かりやすい。</p> <p><b>*コラム的要素について</b></p> <p>(冊子後半にある)育児書に載っているような一般的な情報がスペースを割いているが、載せるにしても空きスペースにコラムとして載せるくらいの分量でよいのではないか。行政ならではの情報が求められていると思う。</p> <p><b>*広告掲載を活用した制作について</b></p> <p>育児書に載っているような内容を知らせたいのであれば、まとめて別冊にしてもよいのでは。子育て情報誌の会社などに掲載情報を含めて制作を委託し、配布は市が協力するというやり方もある。広告協賛を募ることで市費負担は無料あるいは大幅削減できる可能性もある。</p>
<p>事務局</p>	<p>市長公室 広報課</p>